

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年6月21日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)～2022.6.26(日)

第8回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門全体レポート
セミファイナル 第3日 2022年6月19日(日)



尾形 牧子
(仙台国際音楽コンクール企画推進委員
公益財団法人日本ピアノ教育連盟東北支部支部長)

ピアノ部門セミファイナル3日目の6月19日(日)、晴れ時々雨と、開演30分前の13:30頃はひどい雨で心配しましたが、帰りの時間には青空が広がり、空を見上げて帰路につく方々が大勢いらっしゃいました。

3日目のコンテストは、中国のルウォ・ジャチン1999年生、ベートーヴェンピアノコンチェルト第2番。日本の神原雅治2003年生、モーツァルトピアノコンチェルトK459。韓国のキム・ソンヒョン2002年生、モーツァルトピアノコンチェルトK450。そしてブルガリアのステファン・ボネフ1993年生、モーツァルトピアノコンチェルトK456。本当にそれぞれのコンテストの確かな技術・ここまでやれるのだという豊かな表現力・うっとりするほどの聴衆に訴える音色の変化など等、素晴らしいの一言です。

3日間で12人のコンテストの演奏を聴かせていただきましたが、それぞれの様々な力量から、今後益々の活躍が期待されることを確信いたしました。そして、全員が指揮者の高関健氏を信頼し、音楽を運んでいることが聴衆にも伝わり、改めて高関氏の存在の大きさを感じました。また協演の仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆様のお力に感謝の気持ちで一杯です。

審査委員長の野平一郎氏は、3月13日(日)に開催されたコンクールボランティア企画運営事業にて、「コンテストは自分の解釈、自分がこのように考えているということを見せたいことが要求される」「コンクール後の人生、後の音楽家としての人生がものすごく長い、それが充実しないのでは何のためのコンクールだろうか」「このコンクールがその人が大きくなっていくサポートになったら嬉しい」とお話しされました。

審査副委員長の海老彰子氏は、昨年のショパン国際ピアノコンクールの審査委員をつとめられた際のインタビューで「コンクールにチャレンジする人は気骨と柔軟性、相反するよう見えるこの二つの性質を備えておくことが大切。また、自分の言いたいこと、何を伝えたいのか、しっかりと持っていてほしい」とコメントしていらっしゃいました。

予選31人の演奏からセミファイナル12人の演奏を聴かせて頂いたことで、私は最高に充実した、そして幸せな時間を持つことが出来ました。聴衆の大きな拍手がコンテストの心に響いてくれたら幸いです。これからの音楽人生に幸多かれと祈るばかりです。

なお、ファイナル6人の演奏は、6月23日(木)から25日(土)の3日間に行われます。

[おわり]

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。
第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト
https://simc.jp/8th_competition/
Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition
twitter :@sendai_simc